

2K7/7/末 E - NEXCO社/北海道支社殿 IRIプロファイラの納入

昨年7月から E - NEXCO / 北海道支社殿との協業による IRI プロファイラの開発が終わり、この度、東日本高速道路株式会社/北海道支社殿に最新型の IRI プロファイラ System の一式を納入いたしました。

北海道は、積雪寒冷地で冬季はアイスレンズによる凍上現象が現れて、又春季は解凍による不陸が現れるという立地環境で、今回納入した IRI プロファイラを活用して、高速道路利用者へ安全・安心・快適性を提供する目的での購入と聞いています。

また、北海道ではシーニックバイウェイ構想が進行中であり、単に景観が良い高速道路でなく、観光地に相応しい快適な高速道路網の維持修繕を含む整備を行ない、観光立国の先進性を誇れる国土開発を目指す自負がみえます。

(1) 宗谷、(2) 東オホーツク、(3) 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ、(4) 大雪・富良野、(5) 支笏洞爺ニセコ、(6) 函館・大沼・噴火溶ルートの6地域景観ユニットの設置と 萌える天北オロロン、 十勝平野・山麓ルート、 南十勝部街道の3候補地域を「景観緑三法」の本年4月施行を基に推進が始まっています。

((独) 土木研究所/寒地研究所/寒地道路研究グループ：地域景観ユニット)



図 - 1 : 取り付けの詳細



図 - 2 : IRI プロファイラ取り付け車両

高速走行安全・安心確認試験 (80 Km/Hr) は、公道でない試験道路にて行ない、安全・安心である事を確認致しました。

以上。